

パブリックコメント ～貴重な御意見、ありがとうございました～

【期間と件数】

- ・募集期間：令和3年2月12日（金曜日）から令和3年3月13日（土曜日）まで
- ・意見総数：29通
 - ※「『未来の東京』戦略」（案）のパブリックコメントとして実施
（上記意見総数は、「『未来の東京』戦略」（案）のパブリックコメントの意見総数の内数）
 - ※いただいた御意見は要約するとともに同一の御意見については集約し、以下のとおり公表

意見内容	都の考え
<p>・新エネルギーの採用と合わせて省エネに対する言及が不足している。現状の都内の建物は、熱エネルギーの放射対策が十分ではなく、冷暖房の熱が無駄に外気へ排出されている。ドイツなどEU並の断熱性能がある建物の基準を設定する、交換補助にファイナンスを行うなど、夏季冬季のピーク時エネルギー消費を減らす施策が必要と考える。</p>	<p>・スマートグリッドをはじめとするグリーンテクノロジーの活用により、域内のエネルギーを再生可能エネルギーと水素を柱とした100%クリーンエネルギーで賄うなど、ゼロエミッションの実現に向けた取組を進めていきます。</p>
<p>・東京港は慢性的な容量不足、24時間化が図られていない、周辺道路が渋滞するなどの課題を半世紀近く抱えている。バラ色の計画を描く前に、東京港の物流機能の拡充と運用改善、空港や首都圏を結ぶインフラ整備について、DXやロボット技術を活用した取組が重要ではないのか。</p>	<p>・コンテナふ頭の整備・再編やAI等のデジタル技術を活用したコンテナターミナル高度化により、港湾物流の効率化を推進していきます。</p> <p>・このほか、地下鉄8号線延伸、羽田空港アクセス線などについて順次事業化に着手するとともに、区部中心部と臨海副都心を直接繋ぐ、臨海地下鉄の事業化に向けた検討を行っていきます。</p> <p>・また、官民を挙げ、日本の本気を魅せるデジタル技術を駆使し、ベイエリアを、世界中から人が集まるサステナブルな都市に生まれ変わらせていきます。</p>

意見内容	都の考え
<p>・都心部・臨海地域地下鉄構想は、沿線住民にとっても悲願である。東京ベイeSGプロジェクト（ドラフト）に「地下鉄の事業化などにより都心や羽田空港等とのアクセスの飛躍的な向上を図る」との文言をより具体的に明記するとともに、「『未来の東京』戦略」本編にも明記してほしい。また、デメリットが大きい「カジノ」は、「想定していない」あるいは「含まない」旨を明記してほしい。</p>	<p>・地下鉄8号線延伸、羽田空港アクセス線などについて順次事業化に着手するとともに、区部中心部と臨海副都心を直接繋ぐ、臨海地下鉄の事業化に向けた検討を行っていきます。</p> <p>・いただいた御意見は、関係部署にもお伝えし、今後の参考とさせていただきます。</p>
<p>・ベイエリアだけではなく、ものづくり拠点・研究開発拠点としての多摩地域にもプロジェクトを興すべき。総じて都心やベイエリアよりも集積度は低く、人口密度も低いいため、人中心で緑溢れ歩きやすく住みやすい、『未来の東京』戦略に描かれている通りの理想未来都市を形成することが、比較的容易であると考えます。</p>	<p>・産業・経済・文化を含めた社会全体の変革・発展につながる東京ベイeSGの都市モデルを、東京そして世界へ発信していきます。</p>
<p>・喜ばしいところが一つもない。世界の人たちから日本の人気観光スポット第一位だった築地市場を返して欲しい。</p>	<p>・いただいた御意見は、関係部署にもお伝えし、今後の参考とさせていただきます。</p>
<p>・有明の「そなエリア」も含めて開発はできないか。官邸がダメになった場合の代替拠点が必ずしもベイエリアにある必要性はないと感じている。国と交渉して、この広大な土地をもっと別の開発に利用できないか検討してほしい。</p>	<p>・いただいた御意見は、関係部署にもお伝えし、今後の参考とさせていただきます。</p>
<p>・都心部と臨海部のアクセスをもっと良くしていくことが重要だと思う。</p>	<p>・地下鉄8号線延伸、羽田空港アクセス線などについて順次事業化に着手するとともに、区部中心部と臨海副都心を直接繋ぐ、臨海地下鉄の事業化に向けた検討を行っていきます。また、第二東京湾岸道路や羽田空港の機能強化等について、早期事業化を推進していきます。</p>

意見内容	都の考え
<ul style="list-style-type: none"> ・ベイエリアはまだまだ空いている土地があるのでもっと魅力的な未来の街にしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ベイエリアには、商業機能、エンターテインメント、東京2020大会関連施設など多様な魅力を持つ「臨海副都心」や、将来的には約1,000haの広大な土地となる新しい埋立地といったポテンシャルが存在します。高いポテンシャルを活かし、このフィールドを舞台にプロジェクトを先行して展開し、デジタル時代においても「ここにしかない」魅力を求めて人々が集まる都市を実現していきます。
<ul style="list-style-type: none"> ・ベイエリアにもっと楽しく遊べる場所ができてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポップカルチャーから、食文化、伝統芸能、スポーツまで、リアルとバーチャル双方で楽しめる場を創設するとともに、青海、有明地区にスポーツ、ライブエンターテインメントの拠点を形成するなど、世界中の人々を魅了する「遊び場」を創出していきます。
<ul style="list-style-type: none"> ・シンガポールのように都心から近いリゾートがベイエリアにできてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いただいた御意見は、今後の参考とさせていただきます。
<ul style="list-style-type: none"> ・反対。東京が壊れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いただいた御意見は、今後の参考とさせていただきます。
<ul style="list-style-type: none"> ・「12. 東京ベイeSGプロジェクト」について、環境やエコロジーをコンセプトに掲げて「約1,000haの広大な土地となる新しい埋立地」を用意することに自己矛盾は感じないのか。記述された要素技術や計画も関連がない、もしくは環境や持続可能性への障壁となりうるものばかりである。早急に根本的な計画見直しを実施されたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能性と経済を両立させた都市モデルを社会全体で共有し、ともに創り上げていくことにより、東京の国際的なプレゼンスをさらに高めるとともに、世界が目指すべき未来の都市像を発信していきます。いただいた御意見は、今後の参考とさせていただきます。

意見内容	都の考え
<ul style="list-style-type: none"> ・東京が国際競争に勝ち、我が国の社会経済を牽引する都市であり続けることの必要性はこれからも変わることはなく、そのために、東京2020大会の競技施設や多くの低未利用地を有するベイエリアを、環境・バリアフリー・健康などの分野でイノベーションを生み出す先導的なエリアへと発展させていくことが重要と考える。そのような観点から、とりわけ「東京ベイeSGプロジェクト」に大きな期待を寄せる。 ・「東京ベイeSGプロジェクト」に示された都市モデルを実現していくためには、エリア内の土地利用や産業立地もさることながら、エリア外とのアクセスの不便を解消することが不可欠であると考え。交通インフラについて言えば、ベイエリアと都心方向や羽田空港とを結ぶ鉄道ネットワークを整備して、移動時間の短縮を図ることが重要である。と同時に、東京版MaaSを実装し、交通とまちづくりの連携によるDX時代にふさわしい新たなサービスを内外から訪れる客に提供していく必要もあろう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地下鉄8号線延伸、羽田空港アクセス線などについて順次事業化に着手するとともに、区部中心部と臨海副都心を直接繋ぐ、臨海地下鉄の事業化に向けた検討を行っていきます。また、第二東京湾岸道路や羽田空港の機能強化等について、早期事業化を推進していきます。 ・このほか、自動運転、MaaS、キャッシュレスなど、最先端テクノロジーの実装を進めるとともに、まち全体をショーケース化していきます。
<ul style="list-style-type: none"> ・新たに都市を創り出すということは、その過程でどれほどの二酸化炭素が排出されるのだろうか、という不安がある。本気で「ゼロエミッション東京」を実現させるには、新たな土地開発ではなく、現在東京にある企業や施設を再エネ100%にするなど、先にやるべきことがあるのではないかと考える。そして、そこに資金を投入すべきだと考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スマートグリッドをはじめとするグリーンテクノロジーの活用により、域内のエネルギーを再生可能エネルギーと水素を柱とした100%クリーンエネルギーで賄うなど、ゼロエミッションの実現に向けた取組を進めていきます。いただいた御意見は、今後の参考とさせていただきます。
<ul style="list-style-type: none"> ・開発が企業利益になるのだろうか、私たちはそれを望んでいない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いただいた御意見は、今後の参考とさせていただきます。

意見内容	都の考え
<p>・これまで東京ビッグサイトにおいて、（特に大規模な）展示会の開催時に、臨時の駐車場、あるいは出展者の車両待機場、来場者の待機場等に使用されてきた周辺用地が次々に使用できなくなっている現状について、非常に危惧を抱いている。</p> <p>東京ビッグサイトにおいて開催される展示会は、東京ビッグサイトの建物のみが存在すれば、開催できるわけではなく、開催の準備に当たり出展者や搬入出の車両の待機場・駐車場が必要となり、特に規模の大きいイベントにおいては、東京ビッグサイトに付属する正規の駐車場では不足する場合も少なくない。また、特にBtoC、CtoCの展示会で動員の多いイベントにおいては、来場者の待機場所が会場外にも必要となる。しかしながら、東京ビッグサイトに隣接するプロムナード公園や有明西ふ頭公園等は、公園ということもあり、待機列の形成には制約も大きく、また、東京都港湾局、東京港埠頭株式会社等との調整も複雑であり、展示会開催の支障となる場合も少なくない。東京ビッグサイトは国内最大の展示会場だが、周辺の開発が進むことで、その規模を活かした展示会のスムーズな開催に支障が生じるのは、本末転倒と言わざるを得ない。ついては、ベイエリアの開発に当たり、下記を要望する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有明地区・青海地区の臨時駐車場等の開発・売却については、東京ビッグサイト等で開催される各種イベントでの利用があることを十分に考慮して慎重に実施を検討いただきたい。 ・プロムナード公園、有明西ふ頭公園（及び隣接する多目的バース）、東京臨海広域防災公園等東京ビッグサイトに隣接する公園等については、臨海副都心の中心施設でもある東京ビッグサイトでの催事等と連動した使用に当たり、使用条件の緩和や利用調整等を弾力的に行っていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いただいた御意見は、関係部署にもお伝えし、今後の参考とさせていただきます。
<ul style="list-style-type: none"> ・世界に先駆けた未来都市を目指していく東京ベイeSGプロジェクトのまちづくりに大いに賛同。 	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能性と経済を両立させた都市モデルを社会全体で共有し、ともに創り上げていくことにより、東京の国際的なプレゼンスをさらに高めるとともに、世界が目指すべき未来の都市像を発信していきます。

意見内容	都の考え
<ul style="list-style-type: none"> ・『「自然」と「便利」が融合する都市モデル』実現に向け、先端技術の活用だけではなく、ベイエリアにしかない魅力を強化し、世界の都市間競争下で「東京」が魅力ある都市として選択されるために、東京に必要で不足している「文化・エンターテインメントの拠点」を位置付けるべきである。 ・ベイエリアは都心部からのアクセスが限定されるなど、地区によっては民間開発の事業化が難しいという課題もあり、どのようにして持続可能な事業を実現するのかという視点が非常に重要である。十分な集客と事業の採算性が確保できるように、必要な基盤整備を整え、適宜制約を見直すべき。民間事業者の創意工夫を活かし、活躍する場を設け、官民連携しながら街づくりを進めていくべきと考える。 ・「『未来の東京』戦略」とあわせて、東京都で検討を進められている「東京ベイエリアビジョン」（仮称）についても、ベイエリア全体の総合的なビジョンと将来像を示すものと期待しており、早期の策定をお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポップカルチャーから、食文化、伝統芸能、スポーツまで、リアルとバーチャル双方で楽しめる場を創設するとともに、青海、有明地区にスポーツ、ライブエンターテインメントの拠点を形成するなど、世界中の人々を魅了する「遊び場」を創出していきます。 ・地下鉄8号線延伸、羽田空港アクセス線などについて順次事業化に着手するとともに、区部中心部と臨海副都心を直接繋ぐ、臨海地下鉄の事業化に向けた検討を行っていきます。また、第二東京湾岸道路や羽田空港の機能強化等について、早期事業化を推進していきます。 ・具体化した将来像の実現に向け、様々な主体との連携体制を構築していきます。 ・あわせて、民間開発の誘導方針などの具体的な取組を示す、まちづくり戦略を定め、プロジェクトを更に推進していきます。
<ul style="list-style-type: none"> ・グリーンtech集積の一つの案として、地方の会社も参入しやすいような制度も検討してほしい。日本の再生可能エネルギー業界の主要市場は地方が主役で、FIT制度により様々な課題を最前線で経験したのも地方の会社がほとんどである。その経験がある企業が集い、切磋琢磨する事は、東京ベイeSGプロジェクトの「日本中に成果を波及させる」際にとっても有益になると考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体化した将来像の実現に向け、様々な主体との連携体制を構築していきます。
<ul style="list-style-type: none"> ・対象エリアに晴海、豊洲を含めてほしい。 ・ベイエリアのまちづくりについて、地区別にイメージしている戦略・方向性があれば入れてほしい。また、全ての地区について言及が難しければ、早期検討着手が必要な晴海・豊洲エリアのまちづくりについて言及してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・サステナブルリカバリーの観点から、産業・経済・文化を含めた社会全体の変革・発展につながる東京ベイeSGの都市モデルを東京そして世界へ発信していきます。 ・また、民間開発の誘導方針などの具体的な取組を示す、まちづくり戦略を定め、プロジェクトを更に推進していきます。

意見内容	都の考え
<ul style="list-style-type: none"> ・理想論が先走っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いただいた御意見は、今後の参考とさせていただきます。
<ul style="list-style-type: none"> ・化石燃料系に投資をさせないような政策を推進してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スマートグリッドをはじめとするグリーンテクノロジーの活用により、域内のエネルギーを再生可能エネルギーと水素を柱とした100%クリーンエネルギーで賄うなど、ゼロエミッションの実現に向けた取組を進めていきます。
<ul style="list-style-type: none"> ・この期に及んで埋立地が必要なのか大いに疑問。環境に大いに負荷を掛けて埋立地を作った場所でゼロエミッションを謳うのは矛盾している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能性と経済を両立させた都市モデルを社会全体で共有し、ともに創り上げていくことにより、東京の国際的なプレゼンスをさらに高めるとともに、世界が目指すべき未来の都市像を発信していきます。いただいた御意見は、今後の参考とさせていただきます。
<ul style="list-style-type: none"> ・「未来の東京」の創出をリードする主要プロジェクトの東京ベイeSGプロジェクトは、大変な矛盾や欺瞞に満ちているように思えます。「自然」と「便利」が融合する都市モデルの実現など、とても現実的ではないものであり、具体策にかけるのではないのでしょうか。極めて相容れない事だと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の最先端のテクノロジーなど「社会の構造改革」を速やかに実装することで、世界の大都市のモデルとなるような、「自然」と「便利」が融合するような持続可能な都市を創っていくこととしています。いただいた御意見は、今後の参考とさせていただきます。
<ul style="list-style-type: none"> ・新たな都市開発は反対。土木工事の車の往来により、CO2排出が増えることが不安。また、海面上昇により、ベイエリアは100年後も持続して過ごせるか疑問。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の最先端のテクノロジーなど「社会の構造改革」を速やかに実装することで、世界の大都市のモデルとなるような、「自然」と「便利」が融合するような持続可能な都市を創っていくこととしています。いただいた御意見は、今後の参考とさせていただきます。
<ul style="list-style-type: none"> ・新しい都市を作ることは、温室効果ガス排出が伴う。それよりも、自治体との連携、再エネシフトが先決。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いただいた御意見は、今後の参考とさせていただきます。